年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度　　教科　　水産　　科目 水産海洋科学

教　科：　水産　　科　目：　水産海洋科学　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　　組

教科担当者：（　組：　清水　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 水産と海洋の科学（全国高等学校水産教育研究会）　　）

教科　水産　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　水産海洋科学　　の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	科学的な視点で水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	水産業や海洋関連産業の充実を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　海洋と生活 【知識及び技術】 水産や海洋と人間生活の関わりについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋について展望するとともに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 水産や海洋と人間生活について自ら学び、水産や海洋が人間生活に果たす役割について主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　海洋の知識 第2節　水産資源の育成と漁業 第3節　水産物の需要と流通 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 水産や海洋と人間生活の関わりについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋について展望するとともに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水産や海洋と人間生活について自ら学び、水産や海洋が人間生活に果たす役割について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	第2章　海洋の科学 【知識及び技術】 海洋の地形や海水の組成と流動、海洋と生命の起源、鉱物資源やエネルギー資源、海洋の環境問題、異常気象と海洋の関係などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で環境問題や再生可能エネルギー開発など海洋における課題を発見し、合理的かつ創造的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋の持続的活用を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　海洋の地形と海水の組成 第2節　海洋と生命 第3節　海洋と気象 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 海洋の地形や海水の組成と流動、海洋と生命の起源、鉱物資源やエネルギー資源、海洋の環境問題、異常気象と海洋の関係などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で環境問題や再生可能エネルギー開発など海洋における課題を発見し、合理的かつ創造的に考察しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋の持続的活用を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2学期	第1章　海洋と生活 1学期のものと同じ	・指導事項 第4節　食品としての水産物 第5節　船舶の役割 第6節　海洋政策と海洋関連産業 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	1学期のものと同じ	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第2章　海洋の科学 1学期のものと同じ	・指導事項 第4節　海洋の資源・エネルギー 第5節　深海の世界 第6節　海洋と環境問題 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	1学期のものと同じ	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	第3章　水産の新しい展開 【知識及び技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　水産業の新しい展開 第2節　水産物の高度利用 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	第4章　海洋に関する探究活動 【知識及び技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　探究活動の概要 第2節　探究活動の進め方 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 70